

# 重信川自然再生事業

(株)四電技術コンサルタント  
笹山 和延

# 発表内容

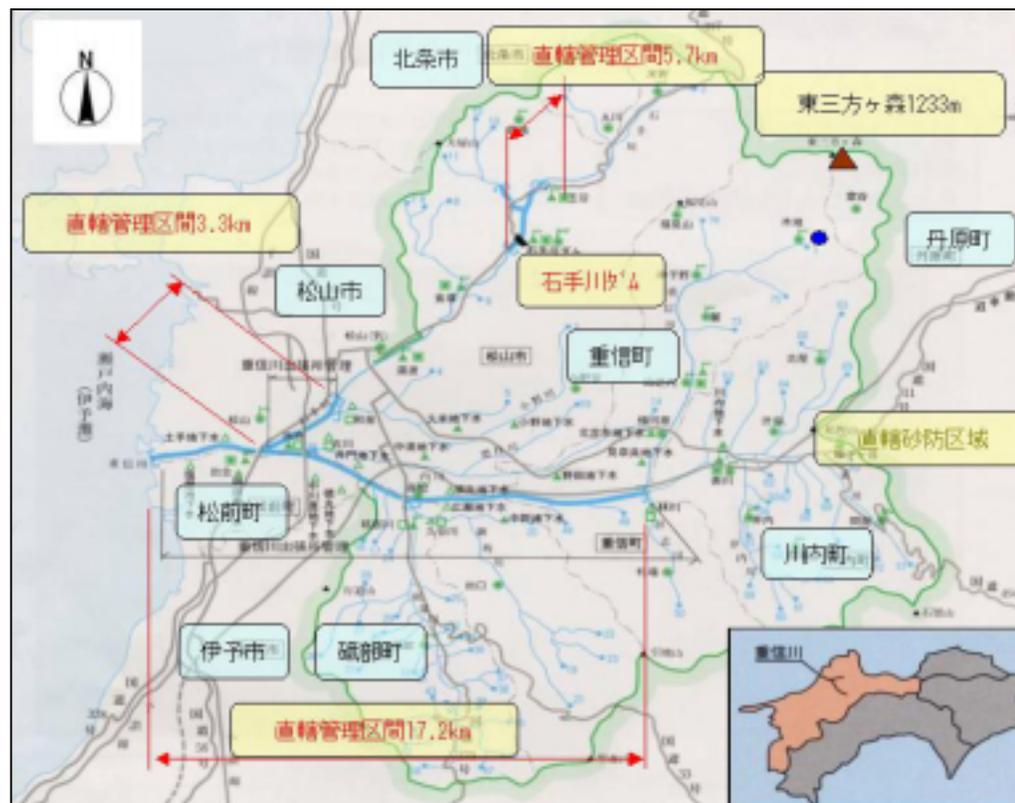
- 1 . 業務概要
- 2 . 重信川自然再生事業の必要性
- 3 . 重信川の自然をはぐくむ会
- 4 . 重信川いきいきネットワーク計画
  - 4.1 アンケート・ヒアリングの実施
  - 4.2 各種検討会等の開催
  - 4.3 情報の双方向性の確保
  - 4.4 重信川自然再生整備箇所(案)
- 5 . 松原泉の再生
  - 5.1 松原泉を保全・再生する会
  - 5.2 松原泉再生のワークショップ
- 6 . まとめ（特徴と課題）

# 1. 業務概要

- 重信川のより良い自然環境の保全・再生に向けて、P I による計画づくりを実施

平成14～15年度：重信川いきいきネットワーク計画

平成16年度：松原泉の再生計画



## 2 . 重信川自然再生事業の必要性

瀬切れ



水質の悪化



植生の減少



失われつつある泉



干潟の保全



霞堤の環境悪化

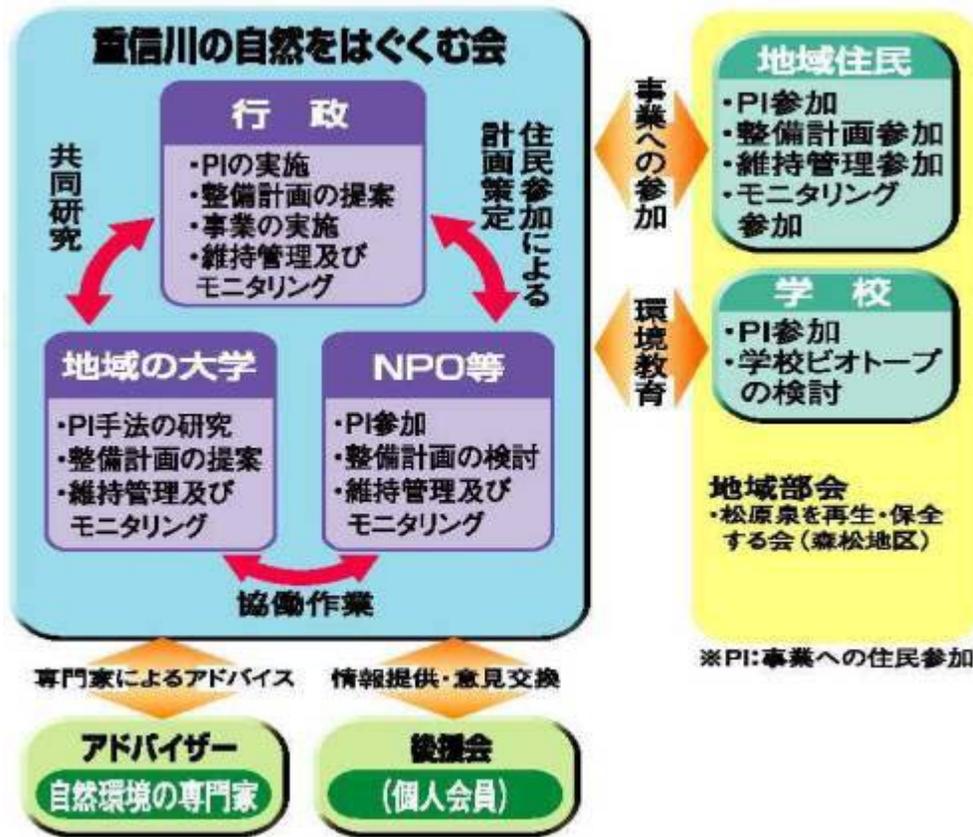


# 3 . 重信川の自然をはぐくむ会

- 地域の大学、NPO等の活動団体、行政がひとつになって設立 (H15.1)
- 構成員約1,000人の組織



はぐくむ会の設立・開催(H15.1)



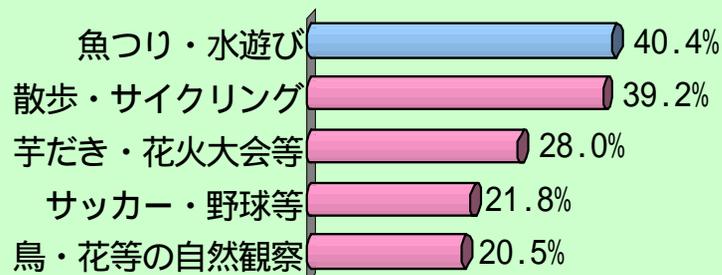


# 4.1 アンケート・ヒアリングの実施

- アンケート（約4,200人）・ヒアリング（35人、7小中学校）による広く一般の意見収集

## アンケート調査の概要

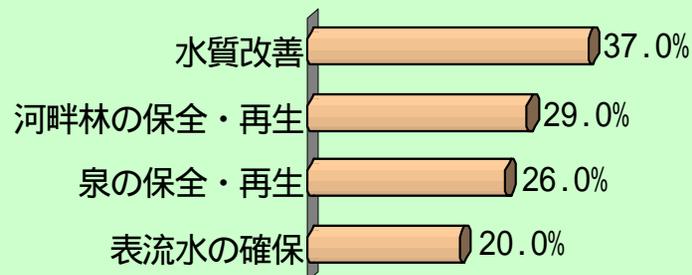
- ・ 重信川沿川住民等：約2,200人（NPOとの協働）
- ・ 小中学生(28校)：約2,000人（愛媛大学が主体）



## 小中学生の重信川の来訪目的

## ヒアリング調査の概要

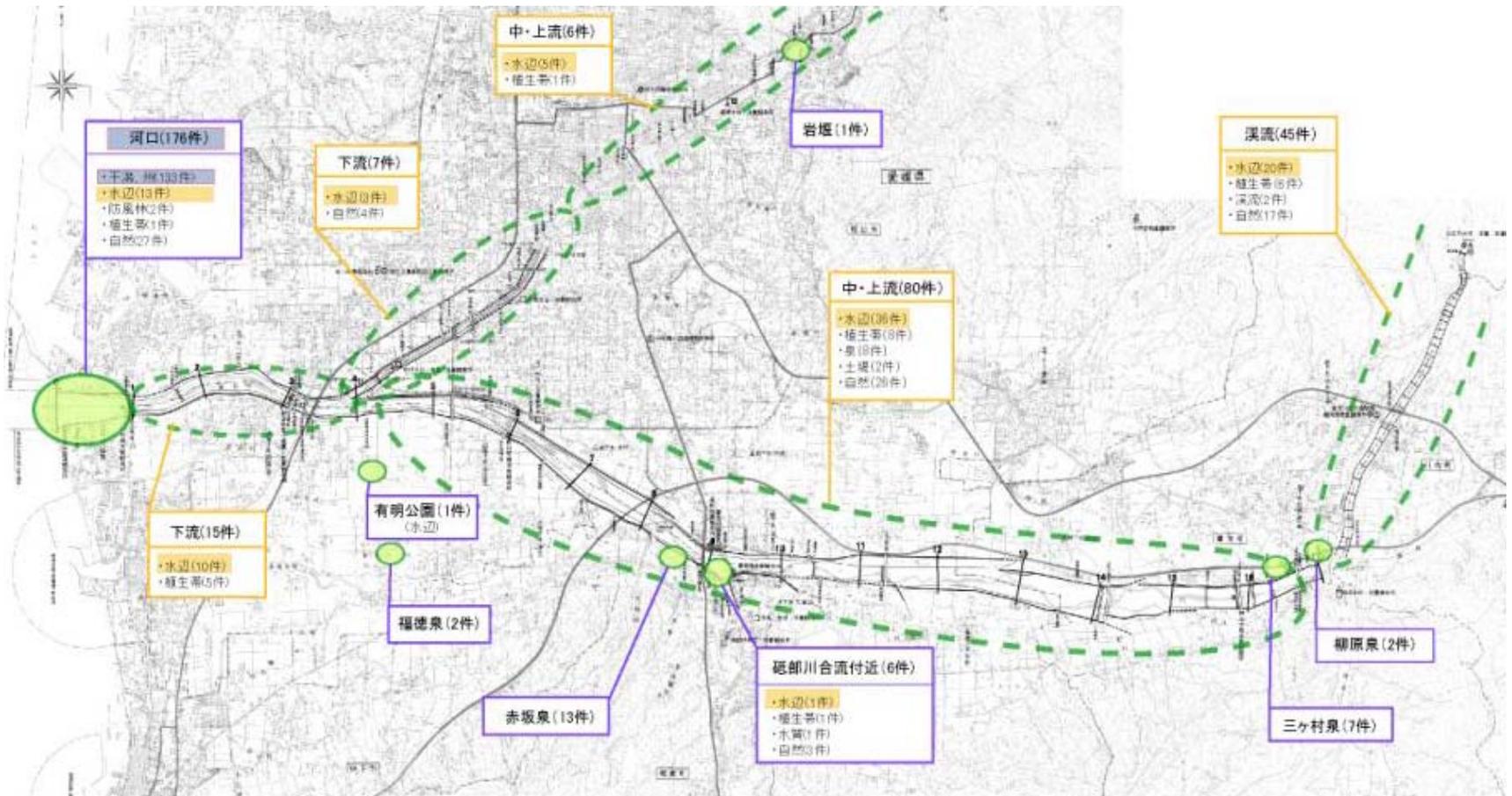
- ・ 各分野の専門家等：35人（NPOとの協働）
- ・ 小中学校(教職員)：7校（愛媛大学が主体）



## 重信川に対する主な要望事項

# アンケート調査による保全要望位置

- 河口部が176件と最も多い（内容的：干潟・州の保全が133件と多い。）
- 流域全般では水辺の保全に対する要望が共通して多い。



## 4.2 各種検討会等の開催

### ■ 重信川いきいきネットワーク計画(案)づくりに向けた活発な協議



現地で課題等を確認しながらの協議



大学生、NPOによる作業部会での協議  
(ワークショップ形式)



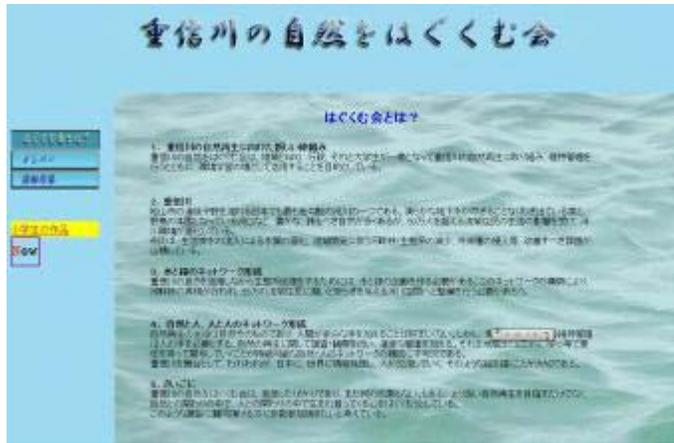
自然環境の専門家による協議  
(アドバイザー会議)



重信川の自然をはぐくむ会での協議

# 4.3 情報の双方向性の確保

## ■ 様々な媒体を活用した積極的な情報提供と意見確認



重信川の自然をはぐくむ会HPの開設



フォーラム等の開催



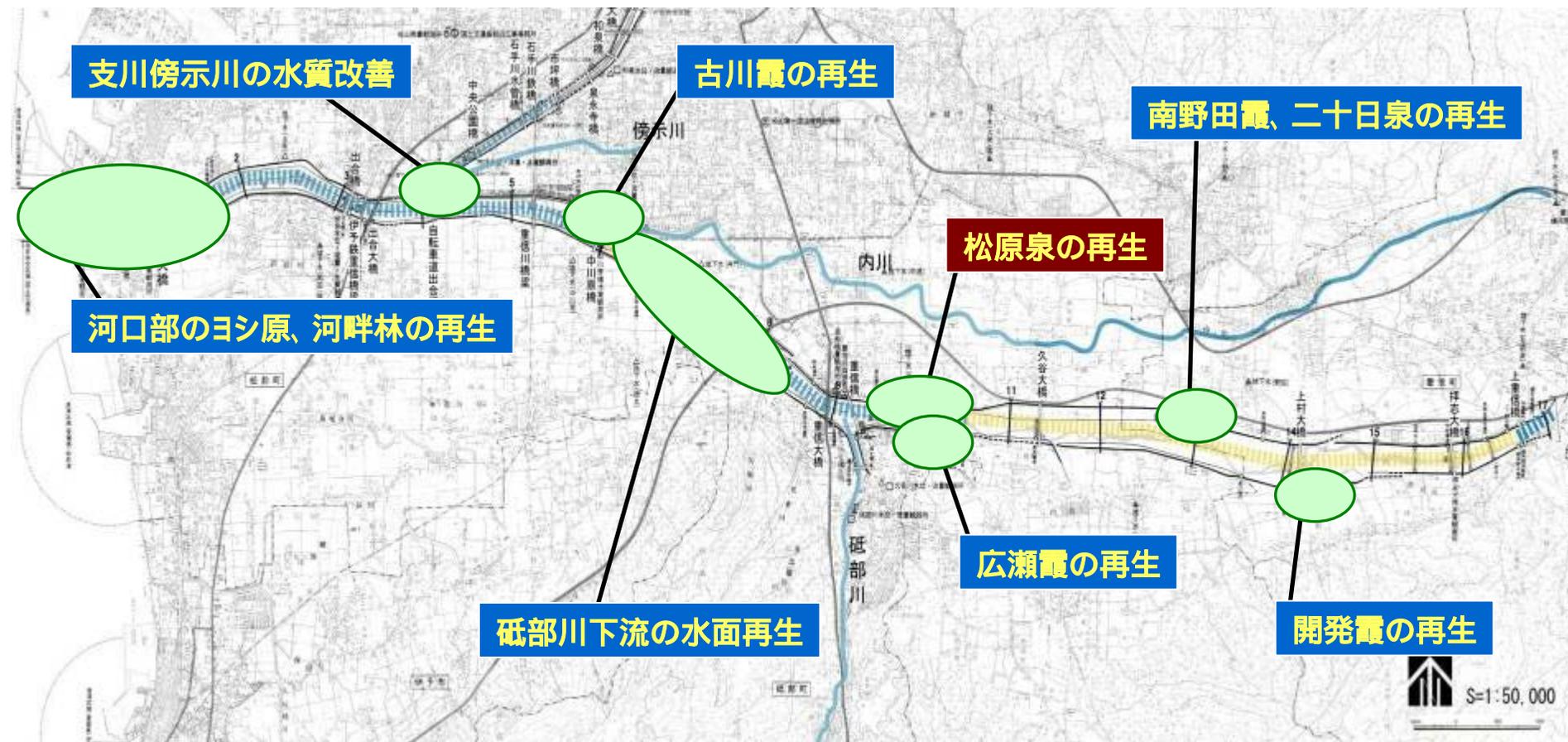
地域住民等への説明会



小学生の意見発表会

## 4.4 重信川自然再生整備箇所(案)

- アンケート結果等を踏まえて整備箇所(案)を設定



# 5 . 松原泉の再生計画

- この地域より上流は瀬切れがたびたび発生する区間
- 松原泉の再生と重信川をつなぐ小川の再生（水のネットワークの形成）

多種多様な動植物の生息空間の確保  
多くの人々の環境学習の場

## 松原泉再生イメージ図



# 5.1 松原泉を再生・保全する会

## ■ 「松原泉を再生・保全する会」の設立・経緯

【平成15年4月10日】

取水計画について浮穴土地改良区との事前協議

【平成15年4月13日】

取水方法について浮穴土地改良区、水利組合への説明

【平成15年5月13日】

取水計画について浮穴土地改良区への説明

【平成15年6月12日】

取水による地下水への影響について浮穴土地改良区への説明

【平成15年6月23日】

自然再生事業、整備計画（素案）について浮穴地区住民への説明

【平成15年9月24日】

地域住民により「松原泉を再生・保全する会」が設立

### 松原泉を再生・保全する会

#### 地域の小中学校

・浮穴小学校  
・南第二中学校

#### 自治会・公民館

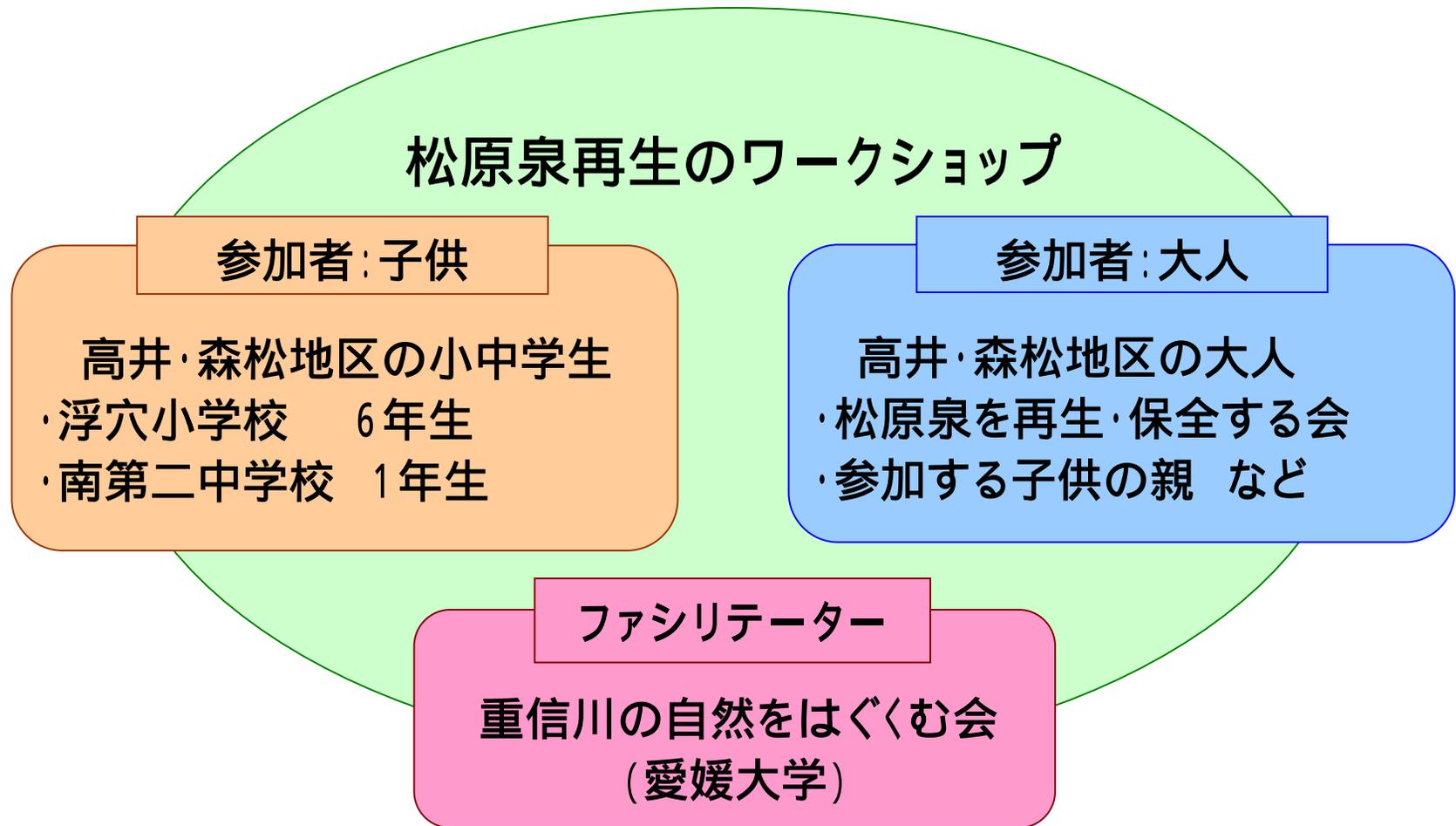
・浮穴地区の住民  
(約10,000人)

#### 組合等

・浮穴地区土地改良区  
・浮穴地区水利組合

## 5.2 松原泉再生のワークショップ

### ■ 地域住民の意見の確認と合意形成



# 泉に関する勉強会（ステップ1）

## ■ 重信川や泉に関する知識向上



浮穴小学校 6年生の勉強会(H16.8)



南第二中学校 1年生の勉強会(H16.10)

# 泉と小川の現地見学会（ステップ2）

## ■ 松原泉再生イメージの確認



土器川生物公園の見学：松原泉保全会(H16.12)



泉の見学会：浮穴小学校6年生  
(H16.10)



泉の見学会：南第二中学校1年生  
(H16.10)

# 整備方針の検討（ステップ3）

## ■ 松原泉の再生に向けた具体案の検討



松原泉保全会 (H16.11)



松原泉保全会 (H16.12)



浮穴小学校 6年生 (H16.12)



南第二中学校 1年生 (H16.10)

# 専門家への意見聴取（ステップ4）

## ■ 生物等に配慮した具体的な整備方法の確認



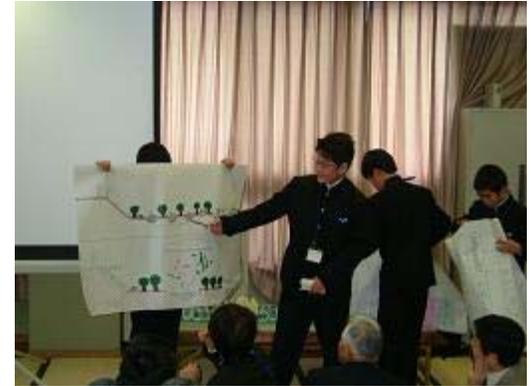
重信川の自然をはぐくむ会(H17.1)



ほたるの会(H17.1)

# 最終確認（ステップ5）

## ■ 検討結果の確認と合意形成



第1回松原泉の再生に向けた全体会議(H17.1)



第2回松原泉の再生に向けた全体会議(H17.2)

# 松原泉の再生に向けた基本方針(案)

## ■ 泉について

昔の松原泉 ~ 生き物がいっぱいいる泉、子供たちが安全に遊べる泉 ~

## ■ 小川について

ホタルが飛ぶゾーン、虫や魚などの生き物を考え方ゾーン、子供が遊べるゾーン等の整備

## ■ 動物について

虫・魚類が自然と住み着くような整備

## ■ 植物について

外来種を入れず昔の松原泉のように雑木林で整備

## 6. まとめ（特徴と課題）

### < 主な特徴 >

- 多様な主体の参画により計画づくり（重信川のはぐくむ会、松原泉を保全・再生する会、地域の小中学生等）
- 地域の大学の積極的な参画（ファシリテーター、大学生のエコリーダー）
- 模型活用・類似事例見学会（住民理解の促進、活発な意見交換の促進）

### < 主な課題等 >

- 30～40歳代（まちづくりの中心世代）の参画
- 地域住民と専門家の意見交換の場の拡充
- 維持管理に向けたパートナーシップの構築